

令和3年度 大牟田市教育委員会第1回臨時会会議録

1. 日 時

令和3年8月27日（金）

開会 14時00分 閉会 14時39分

2. 場 所

大牟田市庁舎北別館4階 第2会議室

3. 出席者

教育長：谷本 理佐

委 員：山本 和夫、嶋田 桂子、東 秀樹、笹井 葉子

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

事務局長 中村 珠美、教育監 平河 良、総務課長 平野 裕二、同課主査 石橋 安司、
教育みらい創造室主査 松葉 茂、学務課長 黒田 昌幸、同課副課長 内野 裕昭、
市民協働部副部長 富安 徹、市民協働総務課主査 木下 勝、
生活安全推進室長 村上 浩明、生涯学習課長 原 美佳、同課地域学習担当課長 楠 修、
同課副課長 加藤 航

6. 傍聴人数

0人

7. 開会の宣告等

14時00分、教育長が開会を宣告し、本日の議題について非公開の発議の有無の確認を行った。非公開の発議なく全案件を公開と決定した。

(報告事項)

1 大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について【教育みらい創造室】

教育長 大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について説明をお願いします。

教育みらい創造室主査 大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明・報告)

- ・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を、「大牟田の教育」の作成を通して実施したところであり、この点検及び評価について学識経験者（福岡教育大学の石丸哲史教授）に依頼していた意見書が8月23日に提出されたので報告するもの。

教育長 何かご質問・ご意見はありませんか。

委員 意見書の4ページの「人権・同和問題啓発事業について」の3行目の「SDG」は「SDGs」と表記しなくてよいのでしょうか。

教育みらい創造室主査 はい。ここで、石丸教授は、17のゴールの集合体であるSDGsを指してではなく、個々のゴールを捉えて、「SDG」と表記していらっしゃると思います。

委員 わかりました。

委員 同じ事業についての意見で、「講演若年層の参加者の割合が10.6%と低い状況にあることを課題としている」とありますが、若年層とは、どのような範囲の人を指すのでしょうか。

教育みらい創造室主査 この事業の個票の「問題点及び課題」の欄に、若年層は10歳代から30歳代までを指すこと、講演会等に若年層の参加者を増やすことが課題であるとの記載があります。

教育長 学習はしているけれども、理解をしているか、という意味では、まだまだだとも思われますので、やはり継続して学習していかなければならないだろうと思います。

委員 他にありませんか。

委員 感想になるのですが、意見書の1ページの下から3行のところ（「このような丁寧な市民目線の点検・評価の手法に至るまでにはたゆまぬ改善努力が背景にあったことと思う。施策の一貫性を堅持しつつも、今回のような学校教育振興プランの改訂に対応もするという臨機応変のスタンスがある」）は、本当にそうだなと感じました。

この点検・評価というものに関して今までに感じたのは、毎年、どのように点検すればいいのか、どのように評価すればいいのか、ということを皆さんで考えてきたことを、石丸先生はしっかりと見ていただいていたのだなと感じられて、とてもうれしく思いましたし、そのような準備をした事務局の皆さんに感謝したいと思います。

また、意見書の3ページの「未来を創るESD推進事業について」の4行目に「子どもは行事でも育つ」という言葉がありますが、このようなコロナ禍の時代で、行事の実施が難しい状況ですが、できる範囲で子どもたちに行事を経験してほしいと感じたのと、数値的な評価がしづらいものであっても、それをどうにかして見出してあげて、子どもたちの評価につなげていくことで、子どもたちのやり甲斐などにつながるのかなと、この文章を見て感じました。

最後に、5ページの「ESD実践と学力向上は拮抗対立してはいない」、「ESD実践の延長線上には学力向上が明確に位置づけられないといけない」というのは、子どもたちにとってESD実践というのはとても大切なことであり、そのことで学びの力が伸びていくようにしていかななくてはならない、というような意味なのかなと思いました。同じ延長線上にあるものであって、どちらが上とか下とか、先とか後とかということ

ではないと言っていたように思いました。そして、大牟田が目指していること、今までやってきたことは間違いではなかったのだと思えて、とてもうれしく感じました。

教育長

他にありませんか。

無いようでしたら、ご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(了解する旨の声あり)

(協議事項)

1 令和3年度大牟田市一般会計補正予算(案)について【総務課・市民協働総務課】

教育長 令和3年度大牟田市一般会計補正予算(案)の教育委員会分について説明をお願いします。

総務課長 令和3年度大牟田市一般会計補正予算(案)の教育委員会分について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 歳出の主なものは、倉永小学校のプールポンプ及び白川小学校の給湯管の老朽化した設備等の更新の経費、ハザードマップ浸水想定区域に位置する学校の受変電設備をかさ上げる工事のための実施設計の経費。

教育長

何かご質問・ご意見はありませんか。

委員

受変電設備のかさ上げについては、今回は設計のための経費のみで、実際の工事はもっと先になるのでしょうか。

学務課長

はい。今回の補正予算は実施設計の経費で、整備は来年度以降となります。

委員

わかりました。

教育長

他にありませんか。

無いようでしたら、ご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(承諾する旨の声あり)

次に、令和3年度大牟田市一般会計補正予算(案)の市民協働部所管分について説明をお願いします。

市民協働部副部長

令和3年度大牟田市一般会計補正予算(案)の市民協働部所管分について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 歳出の主な内容は、市立図書館の図書購入費、情報セキュリティ対策のため市立図書館の情報システムを市のネットワークから分離し、市立図書館と6地区公民館の新たな通信ネットワークを構築するための経費、リフレッシュのおおむたの玄関エントランスの天井の一部が落下したため、緊急に工事を行ったことに要する経費。

- ・ なお、今回、教育委員会の所管には属しないが、特に関係があるものとして、県の補助金を活用し、全ての小、中、特別支援学校に防犯カメラを設置する経費を計上。これにより、子どもの登下校時をはじめ市民の日常生活における安心・安全の向上に寄与する。設置箇所として防犯カメラが未設置の小学校10校、中学校7校及び特別支援学校を予定。

教育長
委員

何かご質問・ご意見はありませんか。

2点お尋ねします。まず、資料10ページの防犯カメラの設置についてですが、未設置の学校は、例えば、(設置のための)寄付がこれまでになかったために未設置となっているのでしょうか。

市民協働部副部長
委員

はい。そのとおりです。

わかりました。次に、資料4ページの大牟田北ロータリークラブからの図書購入費等寄付金については、先方から、このような本の購入に充ててほしいというような御要望がなされているのでしょうか。

生涯学習課副課長

先方からは、「青少年健全育成に資するため、図書購入費としての寄付を行う」ということでしたので、子供向け、学校貸出し向けの本を、この寄付金で購入させていただくようにしております。

委員
教育長

わかりました。

他にありませんか。

無いようでしたら、ご理解いただいたものと考えてよろしいですか。
(了解する旨の声あり)

教育長

その他に、委員の皆様から何かありませんか。

無いようでしたら、以上で第1回臨時会を終わります。

閉会 14時39分